	工業高等	専門学校	開講年度 令和03年度 (2	2021年度) / 授	業科目 2	卒業研究・卒業設計		
科目基礎						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
科目番号	LIDTK	0232		科目区分	専門 / 必修			
1 <u>70日7</u> 授業形態		実験・実	<u> </u>	単位の種別と単位数	履修単位:			
3条/28 開設学科			ョ テム工学科	対象学年	返 修辛位.	12		
引設 <u>子科</u> 引設期		通年 運転シス	ノムエナイイ	週時間数	-	世R・10		
] 10 月 20 11 12 13 13 13 13 13 13	++	なし		週时间数	前期:10 後期:10			
X付音/教/ 3当教員	1/3		· 제중 호플 TEL 되셔 도텔 ®					
⊇ヨ教員 別達日 標	.	四戚 戊雄	挂,加登 文学,玉田 和也,毛利 聡					
1 研究/i 2 研究/i 3 研究/i 4 得られ 5 得られ	設計課題に 設計内容に 設計計画を 1た結果を分 1た成果を記 1た成果を記	ついて指導教 立て実行でき ∂析考察でき	る。 切にまとめることができる。 表できる。 					
			理想的な到達レベルの目安 研究/設計課題に関連する文献や資	標準的な到達レベルの目安 研究/設計課題に関連する文献や資		未到達レベルの目安 研究/設計課題に関連する文献や資		
平価項目1			料を十分に調査できる。	料を調査できる。		料を調査できない。		
評価項目2			研究/設計内容について指導教員と 十分にディスカッションができる 。	研究/設計内容について指導教員と ディスカッションができる。		研究/設計内容について指導教員と ディスカッションができない。		
評価項目3			十分に研究/設計計画を立て実行で きる。	研究/設計計画を立て実行できる。		研究/設計計画を立て実行できない。		
評価項目4			得られた結果を十分に分析考察できる。	得られた結果を分析考察		得られた結果を分析考察できない。		
評価項目5			得られた成果を論文として適切に まとめることが十分できる。	得られた成果を論文としまとめることができる。	•	得られた成果を論文として適切に まとめることができない。		
評価項目6			得られた成果を公開の場で十分に 発表できる。	得られた成果を公開のまる。	場で発表で	得られた成果を公開の場で発表できない。		
		頁目との関 ■(B) 党翌・	<mark>係</mark> 教育到達度目標 (C) 学習・教育到達原	F日標 (D) 学習,教育到	连度日煙 (C)	<u> </u>		
^{ドロ・教員} 教育方法		示(D) 子百·	教育到達及日保 (C) 子首・教育到達	支日倧 (D) 子首・教育到)	连及日保 (G			
<u>мн/л/</u>	<u> </u>	一礎的素養 . 実験的	究・卒業設計は,建設システム工学に を身につけることを目的とする。これ 検証などの方法を駆使して課題を遂行	までに学んできた知見に する。	題を遂行する 加えて, 工学	ることを通して,技術者としての基 と的・技術的発想,研究・設計計画		
	<u> </u>	一 卒 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	究・卒業設計は,建設システム工学に	までに学んできた知見に する。 の課題解決を目指す。 ents in the specialized f experience through th plan and experimental (加えて, 工学 ields of the e research/ corroboratio	だ的・技術的発想,研究・設計計画 civil engineering and design theme on understanding on and advancing the state of		
況要	か方・方法	一 一 で で の 実 を で の 実 を の に で の に で の に で の に で に に に に に に に に に に に に に	究・卒業設計は、建設システム工学にを身につけることを目的とする。これ検証などの方法を駆使して課題を遂行室における地域志向テーマでは、地域e Objectives with a special to make basic attainmenter as the engineer acquired from hical conception, research/design ge in the construction engineering は l Bの授業で、オリエンテーションおよ3回目以降は、各研究室において研究	までに学んできた知見にする。 の課題解決を目指す。 ents in the specialized fexperience through tholan and experimental ofield as an expert of civity (で研究/設計課題に関するの遂行を行う。 即味と問題意識を持ち、積	加えて,工学 fields of the e research/ corroboratic vil and arch s説明を行う。	だいけらればいのでは、研究・設計計画 civil engineering and design theme on understanding on and advancing the state of itecture engineer. 第2回目の授業で、配属先を決定的に課題に取り組むことが必要であ		
説要 受業の進 <i>と</i> 主意点	か方・方法	一礎, 「本的実各 CCThicketch と での実各 CCThicketch と での実名 CCThicketch と での実名 でのまる 学研。方 定定 成提定を 履指 教名業素験研 はいまい と では、	究・卒業設計は、建設システム工学にを身につけることを目的とする。これ検証などの方法を駆使して課題を遂域をの方法を駆使して課題を遂ず室における地域志向テーマでは、地域e Objectives】 ubject aims to make basic attainmental conception, research/design ge in the construction engineering 法】目の授業で、オリエンテーションおよる国国以降は、各研究室において、学生自ら野に関して指導教員とディスカッション、開験は実施しない。 「政の実施方法】験はま・評価基準】れた卒業のアク業設計論文と発表のアの基準とする。 の注意】 員の指示に従うこと。 連絡先】教員	までに学んできた知見にする。 の課題解決を目指す。 ents in the specialized fexperience through the plan and experimental field as an expert of civity of the plan and experimental field as an experimental field a	加えて、工学 fields of the e research/corroboration vil and archion る説明を行う。 「極的・自主に にコミュニク	civil engineering and design theme on understanding on and advancing the state of itecture engineer. 。第2回目の授業で、配属先を決定的に課題に取り組むことが必要であアーションを取ること。その過程で		
受業の進 <i>を</i> 受業の進	か方・方法	一礎, 「Architect (Think で) で) で) まま験研 or set at the tech tech throom で で) で で が まま で で で で で で で で で で で で で で で	究・卒業設計は、建設システム工学にを身につけることを目的とする。これ検証などの方法を駆使して課題を遂域をの方法を駆使して課題を遂ず室における地域志向テーマでは、地域e Objectives】 ubject aims to make basic attainmental conception, research/design ge in the construction engineering 法】目の授業で、オリエンテーションおよる国国以降は、各研究室において、学生自ら野に関して指導教員とディスカッション、開験は実施しない。 「政の実施方法】験はま・評価基準】れた卒業のアク業設計論文と発表のアの基準とする。 の注意】 員の指示に従うこと。 連絡先】教員	までに学んできた知見にする。 の課題解決を目指す。 ents in the specialized fexperience through the plan and experimental field as an expert of civity of the plan and experimental field as an experimental field a	加えて、工学 fields of the e research/corroboration vil and archion る説明を行う。 「極的・自主に にコミュニク	civil engineering and design theme on understanding on and advancing the state of itecture engineer. 。第2回目の授業で、配属先を決定的に課題に取り組むことが必要であアーションを取ること。その過程で		
受業の進 <i>を</i> 受業の進	が方・方法 <u>属性・履</u> 値	一礎, 「Architect (Think で) で) で) まま験研 or set at the tech tech throom で で) で で が まま で で で で で で で で で で で で で で で	究・卒業設計は、建設システム工学にを身につけることを目的とする。これ検証などの方法を駆使して課題を遂域を合います。 cobjectives】 de Objectives】 de Objectives de Objective	までに学んできた知見にする。 の課題解決を目指す。 ents in the specialized fexperience through the special as an expert of civilian and experimental of field as an expert of civilian and experimental of field as an expert of civilian and experimental of field as an expert of civilian and experimental of field as an expert of civilian and experimental of field as an expert of civilian and experimental of field as an expert of civilian and experimental field as an expert of civilian	加えて、工学 fields of the e research/corroboration vil and archion る説明を行う。 「極的・自主に にコミュニク	が・技術的発想,研究・設計計画 civil engineering and design theme on understanding on and advancing the state of itecture engineer. 。第2回目の授業で,配属先を決定的に課題に取り組むことが必要であてションを取ること。その過程で 極性などを総合的に勘案し,合否を対析・考察,成果の発表に関する到資		
受業の進め	が方・方法 <u>属性・履</u> 値	一礎, 「Tourse archet the Wish	究・卒業設計は、建設システム工学にを身につけることを目的とする。これ検証などの方法を駆使して課題を遂域を合います。 cobjectives】 de Objectives】 de Objectives de Objective	までに学んできた知見にする。 の課題解決を目指す。 ents in the specialized fexperience through the special and experimental of field as an expert of civic び研究/設計課題に関するの遂行を行う。 即味と問題意識を持ち、積を行い、指導教員と充分 PS容、質疑応答の内容、即次計計画の実施、研究/対	加えて、工学 fields of the e research/corroboration vil and archion る説明を行う。 「極的・自主に にコミュニク	が・技術的発想,研究・設計計画 civil engineering and design theme on understanding on and advancing the state of itecture engineer. 。第2回目の授業で,配属先を決定的に課題に取り組むことが必要であてションを取ること。その過程で 極性などを総合的に勘案し,合否を対析・考察,成果の発表に関する到資		
受業の進め	が方・方法 <u>属性・履</u> 値	一礎, 「The Control of the Control of Control	究・中で学問されている。 でででいるでは、地域を身につけることを目的とする。これにでいているでは、地域を向いては、地域を自然である。これではいて、地域を自然である。これではいて、地域をいけるでは、地域をいけるでは、地域をいけるでは、地域をいけるでは、地域をいけるでは、大りには、大りには、大りには、大りには、大りには、大りには、大りには、大りに	までに学んできた知見にする。 の課題解決を目指す。 ents in the specialized fexperience through the special constant of the sp	加えて、工学 fields of the e research/ corroboratic vil and arch ら説明を行う。 「極的・自主」 (にコミュニク 取り組みの積 設計結果の分	が・技術的発想,研究・設計計画 civil engineering and design theme on understanding on and advancing the state of itecture engineer. 。第2回目の授業で,配属先を決定的に課題に取り組むことが必要であてションを取ること。その過程で 極性などを総合的に勘案し,合否を対析・考察,成果の発表に関する到資		
受業の進め	あ方・方法 <u> </u>	一礎, 「This it	究・卒業設計は、建設システム工学にを身につけることを目的とする。これ検証などの方法を駆使して課題を遂域との方法を駆使して課題を選加がまた。 cobjectives】 ubject aims to make basic attainmenture as the engineer acquired from nical conception, research/design ge in the construction engineering 法】 目の授業で、オリエンテーションおよる3回目以降は、各研究室において、学生自ら呼ば、各研究室において、学生自ら呼ば、内内容を深めていくこと。 いた政・実施しない。 証がの実施方法】 験は実施しない。 評価方法・評価基準】 れた文業研究・ディスカッション、研究を業である。 の注意】 の注意】 の注意】 「連絡先】 類員 「ICT 利用	までに学んできた知見にする。 の課題解決を目指す。 ents in the specialized fexperience through the special as an expert of civilian and experimental of field as an expert of civilian and experimental of field as an expert of civilian and experimental of field as an expert of civilian and experimental of field as an expert of civilian and experimental of field as an expert of civilian and experimental of field as an expert of civilian and experimental field as an expert of civilian	加えて、工学 fields of the e research/ corroboration vil and archion S説明を行う。 最極的・自主に にコミュニケ 取り組みの積 設計結果の分 な質による。	が・技術的発想,研究・設計計画 civil engineering and design theme on understanding on and advancing the state of itecture engineer. 。第2回目の授業で,配属先を決定的に課題に取り組むことが必要であてションを取ること。その過程で 極性などを総合的に勘案し,合否を対析・考察,成果の発表に関する到資		
受業の進め	が方・方法 <u>属性・履</u> 値	一礎, 「The Control of the Control of Control	究・卒業設計は、建設システム工学にを身につけることを目的とする。これ検証などの方法を駆使して課題を遂域を合いまましている地域志向テーマでは、地域をObjectives】 Ubject aims to make basic attainmenture as the engineer acquired from nical conception, research/design ge in the construction engineering 法】 目の授業で、オリエンテーションおよる3回目以降は、各研究室において、学生自ら呼ば、内容を深めていくこと。 験の実施方法】 験はして指導教員とディスカッション、研究は、評価方法・評価基準】 れた卒業設計論文と発表の呼流を決ける。 評価方法・評価基準】 の資料調査、ディスカッション、研究基準とする。 の注意】 負別指示に従うこと。 連絡先】 教員 □ ICT 利用 授業内容 指導教員による。	までに学んできた知見にする。 の課題解決を目指す。 ents in the specialized fexperience through the special constant of the sp	加えて、工学 fields of the e research/ corroboratic vil and archi る説明を行う。 意図的・自主に なり組みの積 設計結果の分 なりまる。 は、3	が・技術的発想,研究・設計計画 civil engineering and design theme on understanding on and advancing the state of itecture engineer. 。第2回目の授業で,配属先を決定的に課題に取り組むことが必要であてションを取ること。その過程で 極性などを総合的に勘案し,合否を対析・考察,成果の発表に関する到近		

		5週	//			1, 2, 3			
			//			1, 2, 3			
			11			1, 2, 3			
			И			1, 2, 3			
	2nd0	1	<i>II</i>			1, 2, 3			
			<i>II</i>			1, 2, 3, 4			
		11週	<i>II</i>			2, 3, 4			
		12週	<i>II</i>			2, 3, 4			
		13週	<i>II</i>			2, 3, 4			
		14週	<i>II</i>			2, 3, 4			
		15週	<i>II</i>			2, 3, 4			
		16週	卒業研究中間発表			6			
	3rdQ		指導教員による。			2, 3, 4			
		2週	II .			2, 3, 4			
		52.	"			2, 3, 4			
		1.2-	<i>II</i>			2, 3, 4			
		5,2	11			2, 3, 4			
		0,2.	<i>II</i>			2, 3, 4			
		, ~-	II .			2, 3, 4			
後期		0,2.	<i>II</i>			2, 3, 4			
12,743	4thQ	2/	<i>II</i>			1, 2, 4, 5			
		10/2	II .			1, 2, 4, 5			
		11/2	<i>II</i>			1, 2, 4, 5			
		12~2	<i>II</i>			1, 2, 4, 5			
		13,2	<i>II</i>			1, 2, 4, 5			
		11/2	<i>II</i>			1, 2, 4, 5			
		13/2				1, 2, 4, 5			
			卒業研究最終発表			6			
	<u> </u>		学習内容と到達						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目	宗			ベル 授業週	
評価割合									
	試馬		発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合 0			20	0	0	80	0	100	
基礎的能力 0			0	0	0	0	0	0	
専門的能力 0			20	0	0	80	0	100	
分野横断的	的能力 0		0	0	0	0	0	0	